

令和5年

岡山県の交通事故

交通事故発生状況

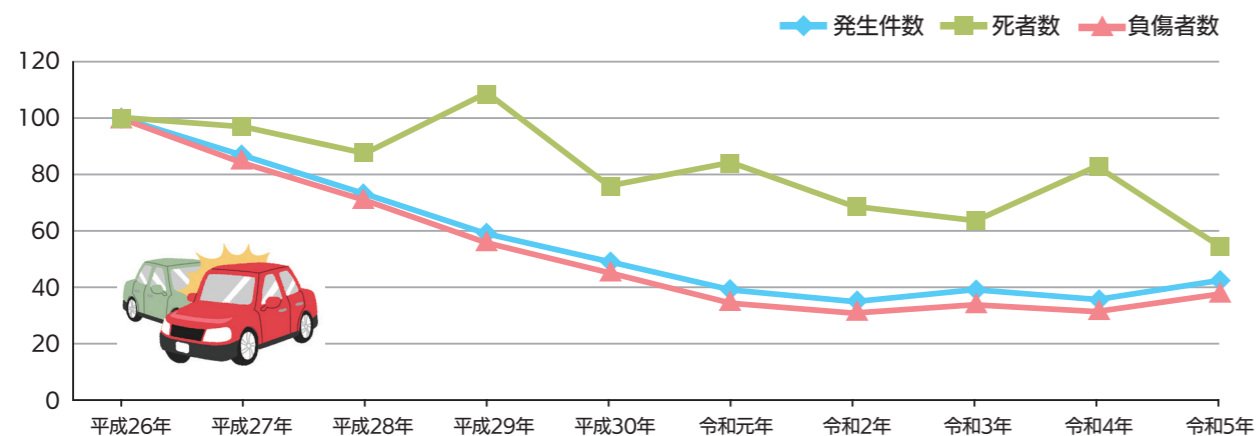
区分	総事故件数	人身事故				物損事故件数
		発生件数	うち死亡事故		負傷者数	
			件数	死者数		
令和5年	50,713	5,161	49	49	5,816	45,552
令和4年	47,917	4,348	73	74	4,855	43,569
増減数	2,796	813	-24	-25	961	1,983
増減率	5.8	18.7	-32.9	-33.8	19.8	4.6

※増減は、前年との対比（以下同じ）

月別発生状況（死者数）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	3	3	5	2	2	2	4	8	4	7	4	5	49
令和4年	7	5	9	5	7	5	4	8	7	4	4	9	74
増減数	-4	-2	-4	-3	-5	-3	0	0	-3	3	0	-4	-25

死傷者数・人身事故件数の推移（指数）



区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
発生件数	12,271	10,627	8,930	7,220	5,902	4,690	4,288	4,683	4,348	5,161
指数	100	87	73	59	48	38	35	38	35	42
死者数	90	87	79	97	68	75	62	57	74	49
指数	100	97	88	108	76	83	69	63	82	54
負傷者数	14,745	12,686	10,654	8,465	6,873	5,315	4,840	5,239	4,855	5,816
指数	100	86	72	57	47	36	33	36	33	39

岡山県警察本部交通企画課

飲酒運転による事故

発生状況

区分	人身事故件数	死者数	負傷者数	重傷	軽傷
令和5年	43	3	48	10	38
令和4年	27	0	39	3	36
増減数	16	3	9	7	2
増減率	59.3	-	23.1	233.3	5.6

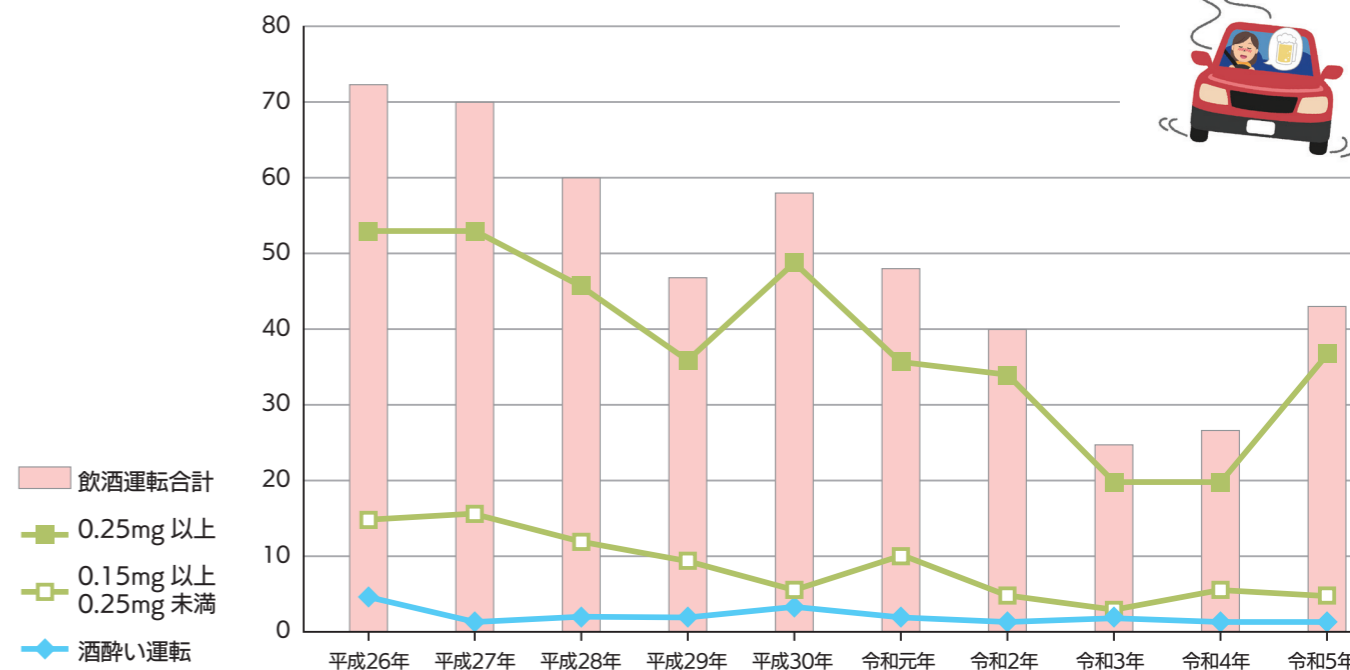
※件数は原付以上の第1当事者の飲酒運転（酒酔い、酒気帯び運転）による事故件数、死傷者数はその事故による死傷者数をいう。

飲酒運転による人身事故件数、死者数及び負傷者数は増加した。

月別（件数）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	2	1	2	3	2	5	5	1	3	5	6	8	43
令和4年	2	3	4	3	1	1	4	1	0	2	4	2	27
増減数	0	-2	-2	0	1	4	1	0	3	3	2	6	16

年別推移（件数）



区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
酒酔い運転	4	1	2	2	3	2	1	2	1	1	
酒気帯び運転	0.25mg以上	53	53	46	36	49	36	34	20	20	37
	0.15mg以上 0.25mg未満	15	16	12	9	6	10	5	3	6	5
合計	72	70	60	47	58	48	40	25	27	43	

飲酒運転による事故は減少傾向にあったが、令和5年は前年より大幅に増加した。

死亡事故の分析

■死亡事故の主な特徴

- 交通事故死者は49人(前年比-25人)で、昭和23年以降、2番目に少ない。
- 高齢者死者は29人(前年比-15人)で、構成率は約6割
- 四輪乗車中死者は20人(前年比-8人)、シートベルト非着用者は7人
- 自転車乗用中死者は6人(前年比-12人)、ヘルメット非着用者は4人
- 歩行者死者は16人(前年比-2人)で、6割以上の10人が道路横断中

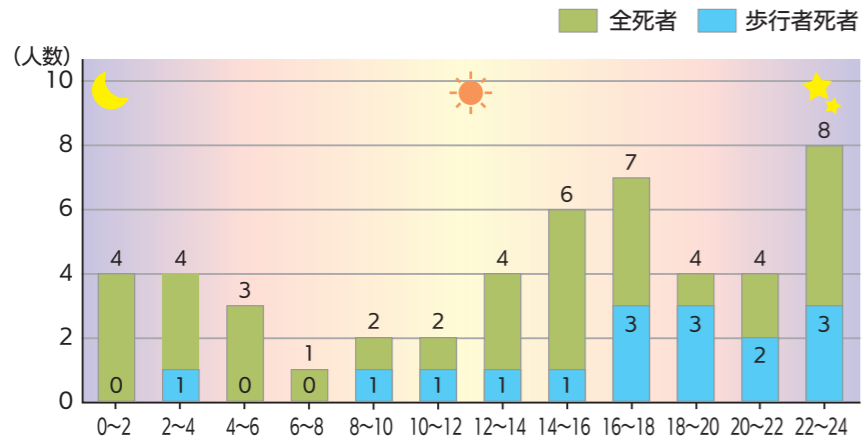
全国での位置づけ

区分	全国	中国地方					合計
		岡山	広島	山口	島根	鳥取	
死者数	2,678	49	78	35	22	14	198
増減数	68	-25	4	4	6	0	-11
人口10万人当たり	2.14	2.63	2.83	2.67	3.34	2.57	-
全国ワースト順位		24	20	22	9	26	

●岡山県の人口10万人当たりの死者数は2.63人で全国ワースト24位

1 いつ

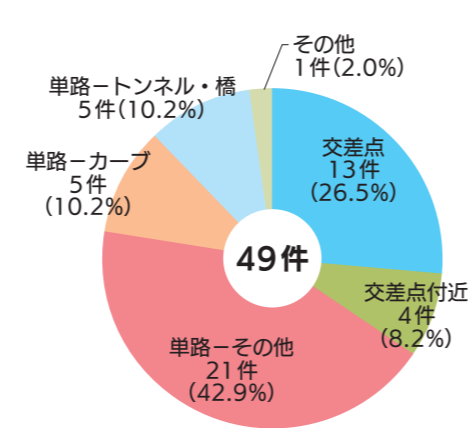
■時間帯別(死者数)



●死者は、16~18時、22~24時が多い。

2 どこで

■道路形状別(件数)



●単路で6割以上を占める。

4 どんな原因で

■第1当事者の違反別・年齢層別(件数)

	最高速度違反	追越し違反	優先通行妨害等	交差点安全進行義務違反	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転	操作不適	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他	歩行者の違反	合計
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4
30歳代	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	1	5
40歳代	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	1	0	7
50歳代	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	1	1	0	7
60歳代	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1	2	0	0	9
70歳代	1	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	1	0	7
80歳以上	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	2	2	10
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	4	1	0	0	11	13	1	6	7	3	49
構成率	6.1	0.0	0.0	8.2	2.0	0.0	0.0	22.4	26.5	2.0	12.2	14.3	6.1	100.0
高齢者	2	0	0	2	1	0	0	5	4	1	4	3	2	24
若者	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4

●前方不注意による事故が最も多く、次に、操作不適が多い。

5 どのように

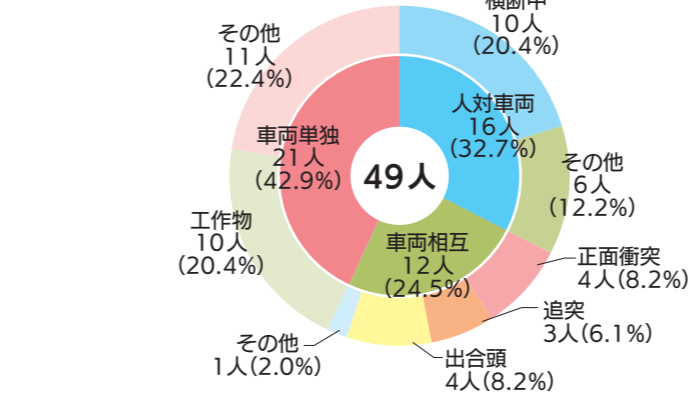
■状態別・年齢層別(死者数)

区分	四輪車乗車中	二輪車乗車中	自転車乗用中	歩行者	その他	合計	構成率
20歳未満	1	0	0	1	0	2	4.1
20歳代	2	1	0	0	0	3	6.1
30歳代	1	0	1	1	0	3	6.1
40歳代	1	1	1	0	2	5	10.2
50歳代	3	1	1	0	0	5	10.2
60歳代	2	0	2	2	0	6	12.2
70歳代	5	0	1	4	0	10	20.4
80歳以上	5	2	0	8	0	15	30.6
合計	20	5	6	16	2	49	100.0
構成率	40.8	10.2	12.2	32.7	4.1	100.0	-
高齢者	12	2	2	13	0	29	59.2
若者	2	1	0	1	0	4	8.2

●全体では、四輪車乗車中の死者が最も多く(約4割)、高齢者では歩行者の死者が多く、歩行者の死者の約8割を占める。

6 どんな事故で

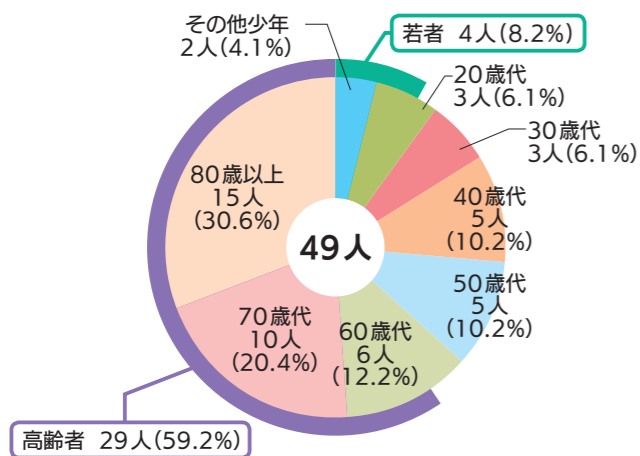
■事故類型別(死者数)



●死者の約6割は、車両単独や正面衝突及び追突といった一方的過失の事故によるもの。

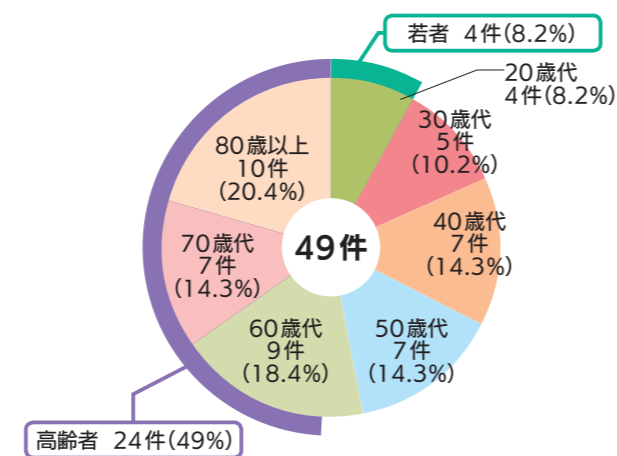
3 だれが

■死者の年齢層別(死者数)



●80歳以上が最も多く、次に70歳代が多い。

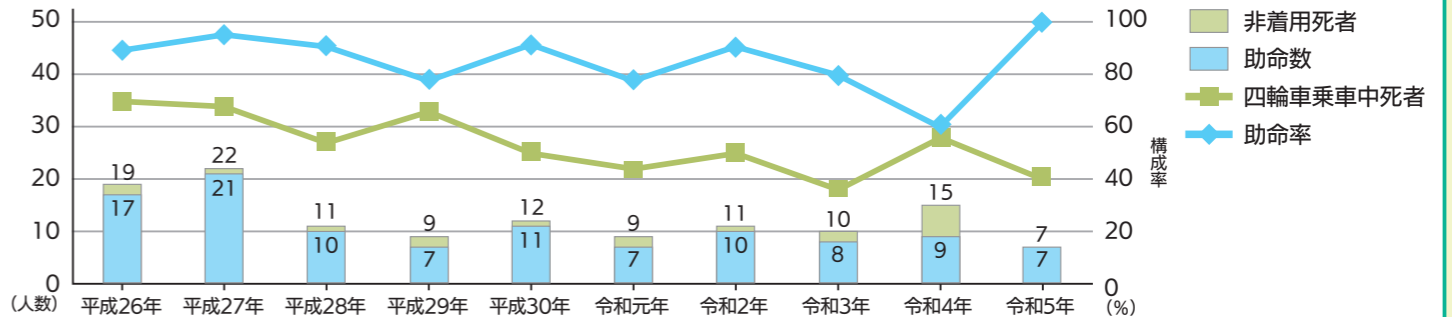
■第1当事者の年齢層別(件数)



●80歳以上が最も多い。

7 シートベルトは

■四輪車乗車中の死者とシートベルト着用状況



●四輪乗車中死者20人のうち7人がシートベルト非着用
●シートベルト非着用者全員がシートベルトをしていれば助かったと考えられる。

区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
シートベルト着用率※1	97.7	98.0	98.8	98.4	98.2	98.6	98.5	99.1	98.6	99.0
四輪車乗車中死者※2	35	34	27	33	25	22	25	18	28	20
着用死者	16	12	16	22	10	10	13	6	13	13
着用率	45.7	35.3	59.3	66.7	40.0	45.5	52.0	33.3	46.4	65.0
非着用死者	19	22	11	9	12	9	11	10	15	7
助命数	17	21	10	7	11	7	10	8	9	7
助命率	89.5	95.5	90.9	77.8	91.7	77.8	90.9	80.0	60.0	100.0
不明	0	0	0	2	3	3	1	2	0	0

※1 一般道路の運転者。警察庁とJAFの合同調査による。

※2 運転者及び同乗者を含み、シートベルト及びチャイルドシートを含む。

高齢者の事故

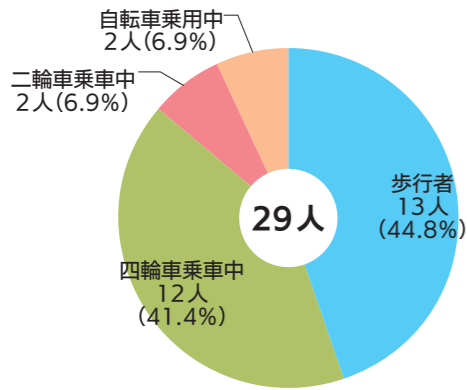
■状態別(死者数)

令和5年中 全死者49人
うち高齢者死者29人(構成率59.2%)

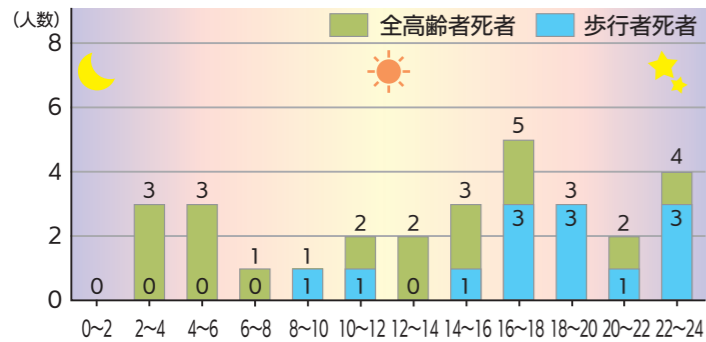
区分	歩行者	四輪車乗車中	二輪車乗車中	自転車乗車中	その他	合計
死者数	13	12	2	2	0	29
うち薄暮・夜間	10	7	1	2	0	20
構成率	76.9	58.3	50.0	100.0	-	69.0

※構成率は、状態別死者数のうち薄暮・夜間時間帯の占める率をいう。
(薄暮時間帯…日の入りの前後1時間)

●歩行者死者13人のうち10人が薄暮・夜間時間帯の死者で、全員が夜光反射材非着用であった。

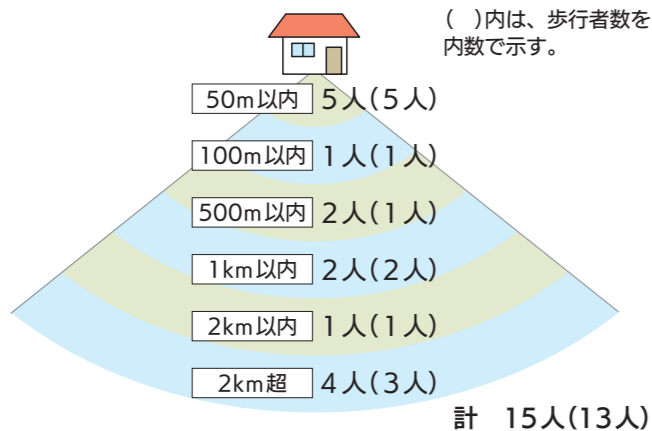


■時間帯別(死者数)



●全高齢者死者は、16~18時に多い。

■自宅からの距離別死者数(自転車・歩行者)

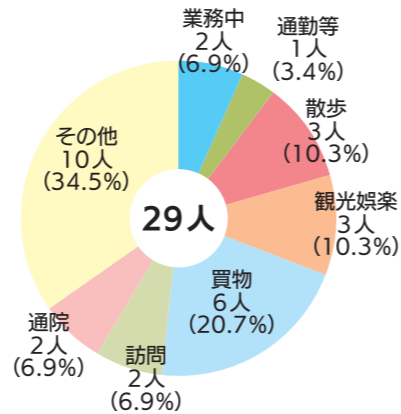


■死亡事故の状態別・原因別(第1当事者件数)

区分	歩行者	四輪車	二輪車	自転車	その他	合計	
車両の違反	最高速度違反	0	2	0	0	0	2
	追越し違反	0	0	0	0	0	0
	優先通行妨害等	0	0	0	0	0	0
	一時不停止	0	0	0	0	0	0
	操作不適	0	4	0	1	0	5
	前方不注意	0	4	0	0	0	4
	安全不確認	0	1	2	1	0	4
	その他	0	7	0	0	0	7
歩行者の違反	信号無視	1	0	0	0	0	1
	横断歩道外横断	1	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0
合計	2	18	2	2	0	24	

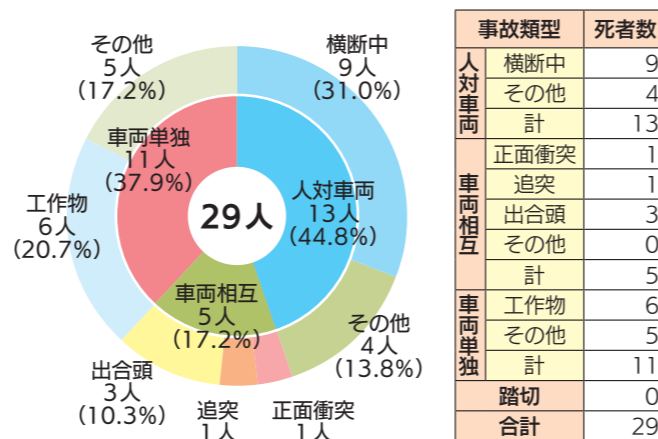
●高齢者が第1当事者となった死亡事故は24件で、うち15件で高齢者自身が死亡

■通行目的別(死者数)

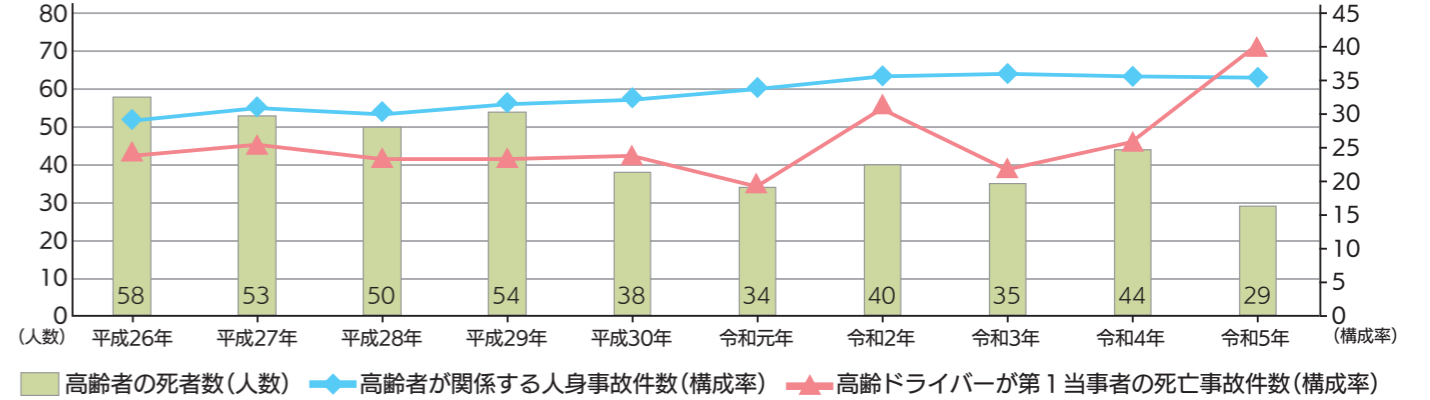


業務中	通勤等
2	1
散歩	観光娯楽
3	3
買物	訪問
6	2
通院	その他
2	10
合計	29

■事故類型別(死者数)



■高齢者の交通事故の推移

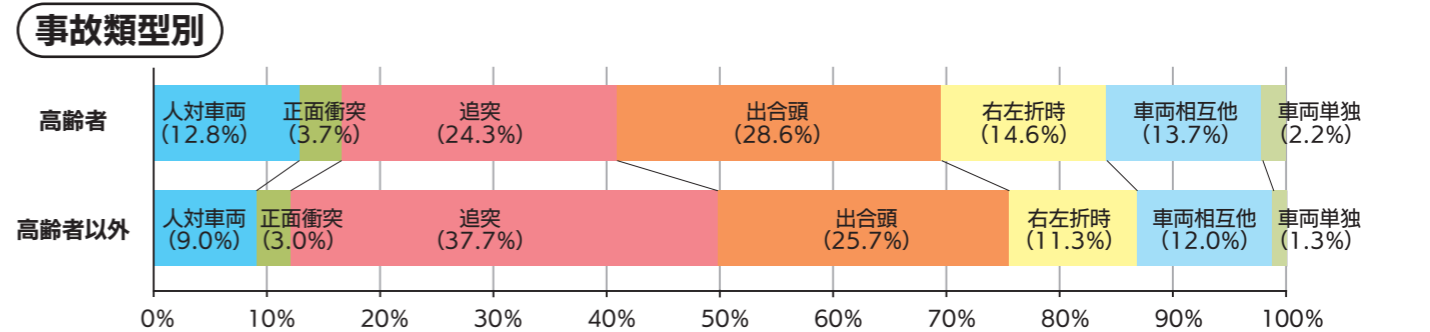


区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
高齢者が関係する人身事故件数	3,496	3,242	2,630	2,246	1,875	1,571	1,524	1,681	1,543	1,820
構成率	28.5	30.5	29.5	31.1	31.8	33.5	35.5	35.9	35.5	35.3
高齢者の死者数	58	53	50	54	38	34	40	35	44	29
構成率	64.4	60.9	63.3	55.7	55.9	45.3	64.5	61.4	59.5	59.2
高齢ドライバーが第1当事者の死亡事故件数	22	22	18	22	16	14	19	12	19	20
構成率	24.7	25.6	23.4	23.4	23.9	19.2	31.1	21.8	26.0	40.8
高齢者の運転免許人口	301,016	311,972	321,521	328,899	335,336	337,851	341,487	346,089	349,690	355,118

※高齢ドライバーは、原付以上の運転者
※構成率は、全人身事故及び全死者に占める割合をいう。
※運転免許人口は各年12月末現在の資料による。

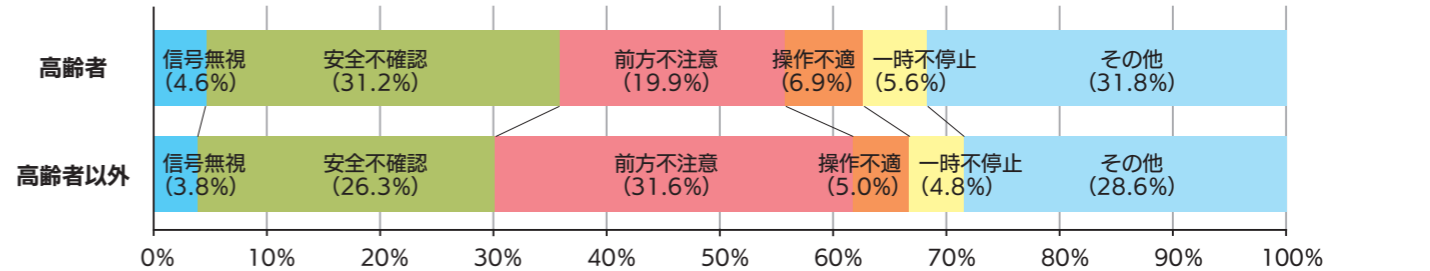
●高齢者が関係する人身事故件数は増加し、構成率は増加傾向にある。
●高齢者死者は減少したが、構成率は6割前後で推移している。

■高齢ドライバー(原付以上)が第1当事者となる事故



●高齢者以外では追突が最も多いが、高齢者では出合頭が最も多い。

違反別



●高齢者以外では前方不注意が最も多いが、高齢者では安全不確認が最も多い。

自転車の事故

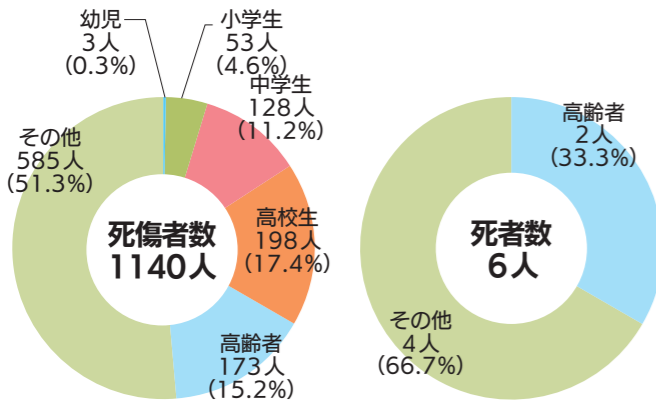
発生状況

区分	人身事故件数	死者数	負傷者数	負傷者数	
				重傷	軽傷
令和5年	1,146	6	1,134	172	962
令和4年	929	18	908	154	754
増減数	217	-12	226	18	208
増減率	23.4	-66.7	24.9	11.7	27.6

※件数は自転車の関係した事故件数、死傷者数は自身の被害をいう。

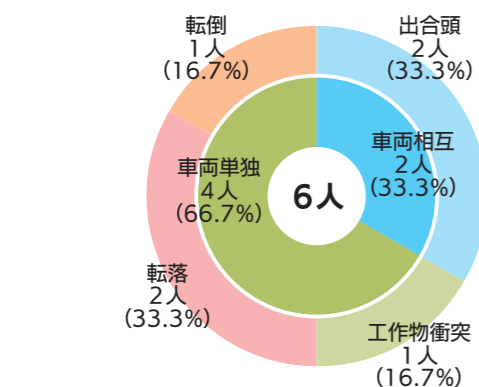
- 死者数は減少したが、人身事故件数及び負傷者数は増加

年齢層別(死傷者数・死者数)



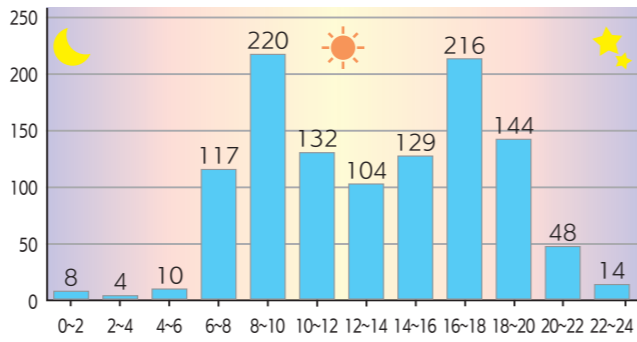
- 死傷者数は、小中高生及び高齢者で約半数を占める。

事故類型別(死者数)



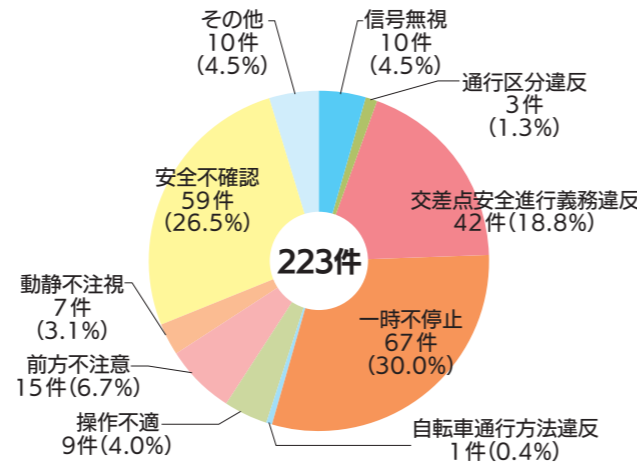
- 自転車乗用中死者6人のうち4人が車両単独事故
- 用水路等への転落事故は1件

時間帯別(件数)



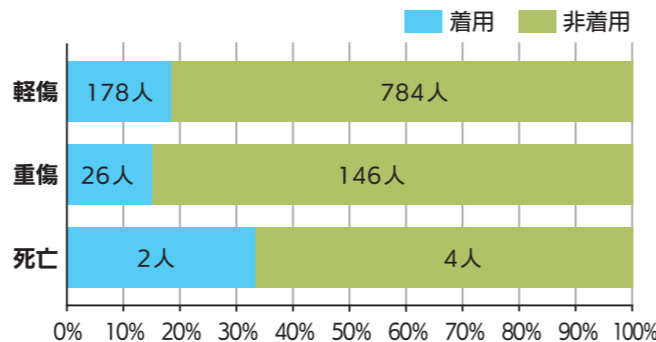
- 8~10時、16~18時に多発している。

違反別(自転車第1当事者)



- 一時不停止が最も多く、次に、安全不確認が多い。

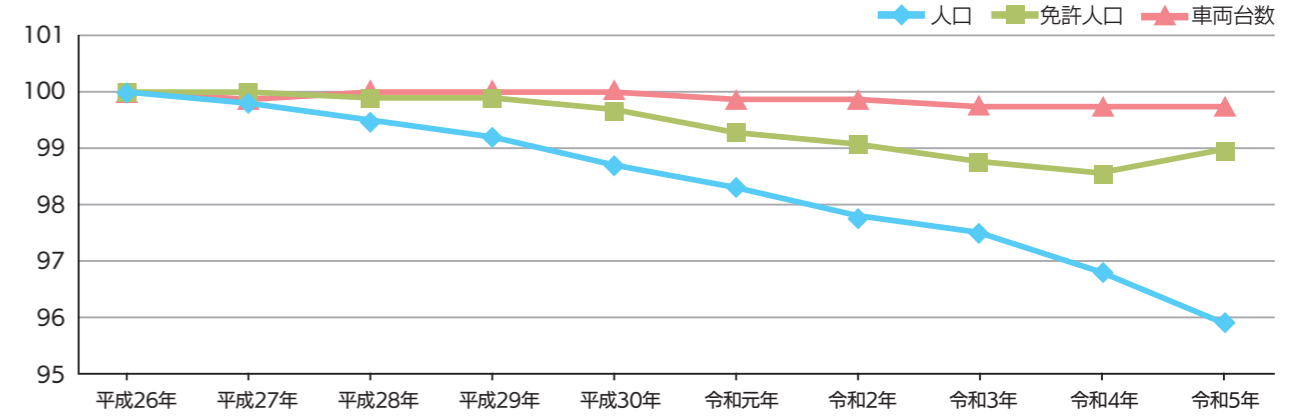
自転車乗用中の死傷者のヘルメット着用状況(人)



- 自転車乗用中の負傷者のうち、ヘルメットを着用していたのは約2割
- 自転車乗用中の死者は、4人がヘルメット非着用

資料

岡山県の人口・免許人口・車両台数の推移(指数)



区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
人口	1,924,556	1,921,525	1,915,401	1,908,447	1,899,739	1,891,346	1,882,356	1,876,934	1,862,012	1,846,525
指数	100.0	99.8	99.5	99.2	98.7	98.3	97.8	97.5	96.8	95.9
免許人口	1,299,579	1,299,435	1,298,780	1,297,660	1,295,074	1,289,926	1,287,452	1,284,490	1,281,430	1,277,485
指数	100.0	100.0	99.9	99.9	99.7	99.3	99.1	98.8	98.6	99.0
車両台数	1,734,001	1,732,547	1,733,358	1,734,858	1,733,459	1,732,287	1,732,423	1,730,117	1,730,324	1,730,733
指数	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0	99.9	99.9	99.8	99.8	99.8

※人口は、各年10月1日現在の岡山県総合政策局統計分析課資料による。

※免許人口は、各年12月末現在の資料による。

※車両台数は、各年12月末現在の国土交通省資料による。

原付二、原付、小特(ミニカーを含む)は各年4月1日現在の岡山県県民生活部市町村課資料による。

お知らせ



..... 横断歩道は歩行者優先

横断歩道での歩行者優先はマナーではなくルールです。横断歩道を横断しようとしている人がいるときは、必ず一時停止しなければなりません。一時停止しなければ罰則があります。横断歩者にうっかり気が付かなかったとしても、一時停止しなければ横断歩行者妨害の違反です。横断しようとする歩行者がいなくても明らかな場合を除いて、横断歩道の直前で停止できる速度で進行する義務があります。ダイヤモンドの先には横断歩道があります。歩行者が急に出てきても止まれる速度で進行しましょう。



..... 自転車はクルマの仲間

自転車も車の仲間です。ルールを守らないと罰則があります。一時停止場所で止まらなると違反です。信号を守らないと違反です。スマホを見ながら運転するのは違反です。ヘルメットの着用は、命を守るために非常に有効です。自転車乗用中の交通事故で亡くなった方のうち4割以上が頭部を損傷しています。ヘルメットの着用によって、致死率を3分の1以下に減少させることができます。事故をして大けがをして後悔することのないよう、自転車に乗る際は、必ずヘルメットを着用しましょう。

